

静脈内鎮静法についての説明

静脈内鎮静法とは、歯科治療時の不安や恐怖感により緊張した状態を、鎮静薬などを用いてリラックスしてもらい、落ち着いて安心して快適に歯科治療を受けることができる方法です。完全に意識がなくなる状態ではなく、「うとうとし、呼びかけには目を覚まし応答できる」状態で治療を行うことができます。

1. 実施手順

- 1) モニター(血圧計、心電図、パルスオキシメーター)を装着します。
- 2) 注射をして点滴を行います。
- 3) 薬の投薬を行います。(うとうとしてきます。)
- 4) 局所麻酔、処置を始めます。
- 5) 治療終了後、ふらつきや眠気などが回復するまで十分休んでいただき、帰宅となります。

2. 術中におこる合併症(まれ)

- 1) めまい、ふらつき、気分不快などが生じることがあります。
- 2) 呼吸抑制や血圧低下などが生じることがあります。
- 3) 局所合併症(血腫、しびれ、疼痛など)が生じることがあります。
- 4) アレルギー症状がでる場合があります。(きわめてまれ)

3. 注意点

- 1) 治療前の食事や水分の制限は必ず守って下さい。
- 2) 当日は来院時および帰宅時を含め終日、自動車、オートバイ、自転車の運転はできません。
- 3) 帰宅の際は、付き添いの方がが必要です。またはタクシーでお帰り頂きます。
- 4) 女性の方は、化粧、マネキュア、かかとの高い靴などは控えて下さい。